

2026. 7. 10

北九州市教職員組合にゆうす



質問と答弁のつづきです。

## 第35回 市教組定期大会、開催される！NO.6

### 【千代中分会 落水代議員の質問】 **事務補助員の再配置**

旅費事務が複雑になった上に、共済組合の保険証事務がマイナンバーカードの導入でより煩雑になった。特に一人事務の仕事量は膨大である。事務補助員削減が始まった当初より、業務量は確実に増えている。事務補助員の全校再配置を求める。

### 【田中書記長の答弁】

学校事務補助員の再配置については、確定交渉の要求項目にも毎年入れています。市教委は学校教育法の改正や、教職員の業務改善推進を含めた学校運営全体の体制見直しの

一環として行うものであり、全校配置は考えていないという回答だが、事務補助員がいない学校の事務職員が一人で仕事をかかえこんで、病休に入ることも多々あり、時間外も増えており明らかに業務量過多である。全校再配置を望むが、未配置の学校の児童生徒数 300 名を 150 名や 200 名にすることからも、市教委には考えていただきたい。

### 【松田代議員の質問】

- ・**長時間労働の現状課題の解決のため**に掲げている「業務改善プログラム4版」について。「業務の3分類」について市教組はどのように対応していくのですか。
- ・**憲法改悪について**のどのようなとりくみを市教組として行っていくのですか。

### 【古田副執行委員長の答弁】

業務改善拡大推進会議に教職員の代表として、市教組から出ていて、2期制になったり、所見が3回から1回になったりしたのは、組合が勝ち取ったものです。

第4版を作っていく中で考えているのは、5点です。

- ①月45時間を超えている職員がかなりいるので、0にしましょう。そのためには学校の中での業務を誰かひとりに偏ったものがないか。持ち帰り仕事はしていないか。などを話している。
- ②学校の規模によって、取り組みの格差があっただろうということ。きちんと要望していく。
- ③FAXの廃止や押印の省略など、DXの加速ということで令和7年から言ってるけど、できていない。
- ④中学校の超勤につながっているのが、部活動。その地域移行について来年度からどんなふうに進めていくのか、しっかりと委員会と話をしたい。
- ⑤若年教員への業務集中防止と行事の精選。コロナで学んだ行事の精選を復活させないようにしていく。「業務の3分類」については、「学校以外が担う業務」については、市教委にきちんと要望していく。「教師以外が積極的に参画すべき業務」について、調査統計・ウェブサイトの作成管理・ICT機器関連について事務職員を中心にという案が上がっているが、学校の中で担当を変えれば良いという問題ではないので(教員の負担減が事務職員の負担増)この部分は、まず職員の数を増やすことが優先で大事なことでないか。

### 【田中書記長の答弁】

憲法改悪のとりくみとしては、7月、もしくは9月の分会長会の時に憲法学習会を開催するようにしています。また市教組としても集会を開いて、市民にしっかり伝えていかなければならない。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1  
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp 北九州教育会館 TEL(093)953-0381

